

平成30年7月24日
滋 賀 大 学

平成33年度滋賀大学入学者選抜の見直しに係る予告について

本学は平成33年度入学者選抜を、次のとおり実施します。

なお、より詳細な実施案については、平成30年度末を目処に公表する予定です。

1. 大学入学共通テストについて

- (1) 「一般選抜」においては、第1次試験として、基礎的教科・科目について学習の到達度を測るため、現行の大学入試センター試験と同様の教科・科目（原則5教科7科目）を課します。
- (2) 英語科目の取扱いについては、英語認定試験を「一般選抜」の全受験生に課すとともに、平成35年度（平成36年度入学者選抜）までは、大学入試センターの大学入学共通テストにおいて実施される英語試験を併せて課します。
なお、平成36年度（平成37年度入学者選抜）以降については、引き続き検討します。
- (3) 英語認定試験の結果は、CEFR 対照表に基づき、その一定水準以上を出願資格として活用します。その水準については、実施案とともに公表する予定です。
- (4) 記述式問題（国語・数学）については、次のとおり扱います。
 - ・記述式問題を含む国語を「一般選抜」の全受験生に課します。その上で、記述式の段階別成績表示については、その結果を点数化し、マークシート式問題の得点に加点して活用します。
 - ・数学は記述式問題を含めて課します。記述式の段階別成績表示については、従来のマークシート式と同様の取扱いとします。

2. 一般選抜について

- (1) 実施教科・科目については、現行の教科・科目とします。
- (2) 本学のアドミッション・ポリシーに基づき、各教科・科目において、論理的思考力・判断力・表現力を評価します。
- (3) 多面的・総合的な評価を実現するため、調査書や志願者本人が記載する資料、面接等を活用する方法を引き続き検討します。